

大阪大学図書館報

Vol. 13, No. 5/6 February 1980

目次

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| ○ハワイの日本学研究の一端 | ○教官著作寄贈図書 |
| ○複写データ処理センター 昭和54年度
上半期処理を終えて | ○本館受入参考図書 |
| ○昭和53年度 大型資料一覧 | ○図書館職員研修会 |
| ○文部省配分外国雑誌購入費について | ○大阪大学図書館業務機械化検討委員会 |
| ○大阪大学所蔵逐次刊行物をCASSIに
登録する | ○会 議 |
| | ○日 程 |
| | ○人 事 |

ハワイの日本学研究の一端

湯 浅 泰 雄

昨年5月末にアメリカの国際宗教超心理学会で研究発表をした帰りに、ハワイ大学に寄った。大学のキャンパスはホノルル市街から離れたマノア谷にある。白い花をつけた熱帯樹と緑の芝生が陽光に映えていた。一週間ちかく滞在して、主に哲学科の教官や大学院生と話し合った。最初おどろいたのは、教授たちがみんな短パン姿で、毛むくじらの足に草履ばきだったこと。ホノルル到着の夜、寿司屋で偶然、短パン姿のヴィグリアモ教授（日本文学）に紹介されて「オヤ」と思ったが、翌日から大学でもみんな同じ恰好なので印象を新たにした。学生の方がズボンやジーパンをはいているのは、教師に対する礼儀(?)。

ハワイ大学の日本研究は、文学・歴史・哲学・演劇などに分れている。この外に語学を主にした日本語学科があって、これはかなりの大勢力らしい。哲学科の有名教授は論理学のコピ教授で、彼の著書は全米の大学の論理学教科書に用いられているという。これまで百万部も出ているとか聞いた。眼がギョロリとして英語にくせがある。もう一人の有名教授はインド哲学のドイチュ教授で、全米の大学の東洋学者の親分格らしい。Philosophy East and West の名編集長である。西洋哲学の教官はコピ氏しか名前を覚えられなかったが、東洋哲学では、ウバジャヤというインド人の教授（ヨガのグルでもある）、中国哲学のチャン教授、エイムス助教授、宗教学のブルーム教授（親鸞の研究者で仏教徒）などと知り合った。

ハワイに寄ったのは、日本哲学専攻のカスリス助教授に会うためである。彼は目下、私の著書の英訳をしてくれている。専門は道元だが、空海や親鸞、また西田哲学や和辻倫理学にも関心が深い。演習は道元と西田を使っているという。ひげ面の大男である。彼の依頼で、

ある日、私は哲学科の教官と院生を相手に身心論の講演をした。西田とメルロー・ポンティの身心論を比較しながら、心身医学や東洋医学（ヨーガと漢方）と宗教思想の関係についてしゃべった。あまりこういう話はきいたことがないらしく、講義のあとの質疑応答はトンチンカンな問答になってしまったが、夜のパーティでは東洋医学と現代身心論の話しがさかんに出た。これも何かの縁だと思って、阪大と日本学の宣伝を少々やった。

アメリカの日本哲学研究はまだ開拓時代で、日本文学や日本歴史ほどの実績もないし、研究者も少ない。カスリス氏は、日本哲学の専門家は自分とニューヨーク市大のディルワース教授ぐらいだろうと言っていた。西田の訳は何冊か出ているが、どれも文学研究者がやったものなので、哲学者から見ると妙な訳だという。そのせいでもあるまいが、欧米の哲学界では、日本には哲学などないと思っている連中も多いという。

日本とアメリカのちがいの一つは、彼らの方が視野がひろいことだろう。「日本哲学」というと、空海・道元から西田・和辻まで含んでいる。「哲学」とは西洋哲学のことに外ならないとするわが国哲学界の常識から見ると、「日本哲学」という言葉は少々耳なれないが、日本人の哲学的思索の伝統をさぐるという意味からいえばこの方が本当だろうと思った。それに彼らは、日本の哲学だけでなく、西洋の論理学や現象学なども熱心にやっている。カスリス氏は、空海や道元の哲学を欧米人に理解させるには、ラーナーの象徴の神学やフッサールの現象学を媒介にしたらいいと思うと言っていた。日本語は残念ながら国際語になっていないので、日本の哲学者といえばまだ鈴木大拙ぐらいしか知られていない。それに文学や歴史とちがって、東洋の哲学というのはわかりにくい。文学のドナルド・キーンやサイデンステッカーの例をみても分るように、外国の優秀な日本研究者が育たないと、日本の哲学や日本人のものの考え方というものはなかなかわかってもらえない。その点カスリス氏はまだ三十そこそこだし、助手や院生にもかなり優秀な研究者が育ちつつあるので、将来は彼らが日本の思想を「哲学」として世界に認めさせる役割をしてくれるのではないかとも思った。事実彼らは、これからは日本哲学の時代になると言って意気高いものがあつた。カスリス氏は秋からハーバードで日本哲学を一年間講義すると言っていた。もう一つアメリカの研究者の特徴は、頭だけでなく実践的に考えるところである。たとえば禅を研究するときは必ず坐禅をやってみるという具合である。日本で中国哲学を学んだエイムス助教授は空手二段であるが、日本人の伝統的エートスを体得するには日本の武道を学ぶのが一番良いと言っていた。アメリカ人らしい実際的なやり方だが、たしかにその通りだろう、と私は思った。アメリカの日本学の発展を祈ってハワイを後にした。

(文学部教授)

複写データ処理センター、昭和54年度上半期処理を終えて

昭和54年10月30日、各国立大学等図書館に処理結果を発送し、第1回の処理業務を終えることができた。昨年4月から国立大学、国立高等専門学校間の文献複写料金は従来の納入告知と支出負担行為書による支払から、文部省が新たに定めた「国立大学等間図書館相互における文献複写業務実施要項」により、文部省から各大学図書館等に配分される図書館維持費の振替によって大学間の校費、私費の料金精算が行なわれることになった。(館報Vol. 13 No. 1参照) 大阪大学附属図書館は国立大学等図書館の受付処理した文献複写経費データに基づき、電算機により各図書館の校費、私費別の依頼、受付件数及びそれらの金額を計算し、

文部省及び国立大学等に処理結果を送付する「複写データ処理センター」の任に当ることになった。

処理センターから「国立大学等図書館間における文献複写業務取扱要領」、「図書館コード表」、「文献複写依頼書」を各大学等に送付し、事前準備を終えて4月から新方式に移行した。9月には上半期（4～9月分）の複写経費データの提出に際しての注意事項を各大学等に通知した。

上半期データ提出期限は10月7日になっていたが、第1便は9月中に到着し、以後10月8日までに提出校の95%が、12日には宛先を違えていた最後の1件が到着した。点検は職員とアルバイトによって送付館からの枚数、各記入項目について行なった。数多くあった不備なデータの訂正、補充をして12日には約46,000件のデータを電算機処理が可能にするため業者に手渡した。20日以降、磁気テープに入力されたデータを機械によってチェックし、最終的に文部省に提出する「収支一覧表」、それぞれ各大学図書館等に送付する「図書館別収支明細書」など三つの様式を打ち出した。この間、機械の故障があったが職員の徹夜などの努力により期日に間に合わせる事ができた。

今回のデータ処理を振り返って見ると、初回であったことから各大学において「取扱要領」が担当者にそれ程周知されておらず、そのために起きるミスと記入漏れ等のため、確認、訂正等の必要上、直接担当者に電話することが多々起った。なかには、依頼館と受付館コードの位置を左右逆に記入したものと複写の受付館になっていない部局図書室のコードを記入したのもあった。依頼を受けた図書館が欠号、製本中などの理由から学内の他の受付館に転送して複写処理した場合、図書館コードを訂正しなければならないが、訂正漏れになっていたデータがかなり見うけられた。これらは上半期の処理結果を送付した後、依頼館から控えの件数、金額とセンターの結果が違うという形の間合せを受けることになった。依頼番号、受付番号では枝番を使用して5桁をオーバーしたものや空欄のもの、番号の重複使用があった。今回のデータ不備の中で多かったのが校費、私費の支払区分の未記入で、これはセンターで決めるわけにもいかず依頼館に問合せをすることになった。また、支払区分の該当個所をタイプの×印を付けたデータが一部あり、これをパンチャーが×印の付いていない方で入力していたのが後半になって判り、磁気テープに入力されていたデータを訂正した。各大学の受付館が送付票に記載したデータ枚数は数え違い、不用データが入っていた所、送付票に処理コピー枚数を記載した所を含めると約23%に誤りがあった。

今回の処理でやっかいだったのが依頼館コードのミスで、依頼館コードを誤って記入した場合でも実存しないコードの場合は電算機によりチェックできたが、実際にコード表にある場合はエラーにならずに通過し、各大学等に処理結果を送付した後で、エラーが判り、下期において訂正することになった。図書館コードの正確な記入は基本的なことで、今回は他のミスと共に少なくなると思うが、依頼館は気を付けてもらいたい所である。処理センターとしても今後、依頼館コードをさらにチェックするよう改善することにした。

昭和53年度 大型資料購入一覧

全国共同利用資料として、昭和53年度文部省特別配分予算により45点の大型資料が28国立大学に購入された。本学においては「アメリカ政府所蔵日本国政文書」、「中国方志叢書」

を購入し、既に利用できるようになっている。他大学の購入資料は下記の通りである。なお昭和54年度大型資料として本学には「Study of Judaica Collection」の購入が認められ、現在整理中で利用に供せるのは5月以後の予定である。

大学名 図書資料名

- | | | | |
|------|---|------|--|
| 北海道 | ○ボリス・スヴェーリン・コレクション
○18世紀ロシア研究叢書
○英・独・仏語によるソ連・東欧研究コレクション | 東京水産 | ○チャレンジャー号探検記 |
| | | 一橋 | ○フランス経済学コレクション |
| | | 金沢 | ○フランス法律判例コレクション |
| 小樽商科 | ○フランス革命期刊行文書および研究書コレクション | 名古屋 | ○フランス、官報及び議事録
○ハンサード英国両院本会議録
○インド立法関係史料集 |
| 弘前 | ○経済学古典コレクション | 愛知教育 | ○コロンビア大学教育学叢書 |
| 東北 | ○ハンサード英国議会討論報告
○米国政府刊行物・議会議事録 | 京都 | ○アイルランド大学出版局英国議会議事録 |
| 福島 | ○19～20世紀ロシア・ソビエト研究 | | ○フランス国民議会議事録 |
| 筑波 | ○心理学、精神病学書コレクション | | ○ドイツ帝国議会議事録 |
| 埼玉 | ○ドイツ帝国統計書 | | ○国立中央図書館善本漢籍 |
| 千葉 | ○ドイツ議会議事録ならびに議会議事資料 | | ○イタリア史誌 |
| 東京 | ○マザラン誌コレクション
○アラブ文化・アラブ学研究コレクション
○オーストラリア総合法令集・判例集体系（連邦・各州）
○インドネシア関係文献マイクロフィッシュ | 神戸 | ○ロシア・ソ連で出版された日本関係文献
○合衆国議会公聴会記録 |
| 東京外語 | ○アラビア現代史料
○ブラジルコレクション | 岡山 | ○ドイツ帝国統計書 |
| 東京学芸 | ○ドイツ教育学集書 | 広島 | ○ハンサード英国議会討論報告
○戦争と平和に関する文献目録 |
| 東京芸術 | ○音楽学位論文集 | 香川 | ○ニューヨーク証券取引所上場会社年次営業報告書 |
| 東京商船 | ○「キャラバンマリタイムブックス」コレクション | 福岡教育 | ○英国教育史研究資料 |
| | | 九州 | ○故シャルル・ペラ教授旧蔵書
○ドイツ連邦議会「戦後分」議事録 |
| | | 九州芸術 | ○ロイド・モーガン教授建築学関係 |
| | | 工科 | コレクション |
| | | 熊本 | ○英国議会議事録 1801年～1899年 |

文部省配分外国雑誌購入費について

昭和54年8月3日付けで昭和54年度自然科学系の外国学術雑誌購入費として、文部省より本学に予算配分がありました。第1種は8,000千円の配分があり、本年度増加分800千円については、昨年同様各部局から購入希望をつのり、図書館および関連部局と連絡、調整をはかり、下記のとおり購入誌33タイトルを決定した。第3種は26,449千円の配分があり、本年度増加分11,696千円について購入誌1,252タイトルを決定した。

なお、第3種についてはすでに学内外関係機関にリストが配布されている。

第1種 33タイトル〔中之島分館(21)吹田分館(12)〕

(本館増加分については、欠号およびバックナンバーの補充費にあてた。)

第3種 1,252タイトル

購入誌タイトルリスト (第1種: 33タイトル)

配架場所略名: 中之島分館—(N) 吹田分館—(S)

Acta Psychiatrica Scandinavica.(N)	Environment and Planning. A&B.(S)
Allergy.(N)	Experimentelle Pathologie.(N)
American Journal of Mental Deficiency.(N)	Headache.(N)
Annales d'Endocrinologie.(N)	Helvetica Chirurgica Acta.(N)
Annales de Medecine Interne.(N)	International Journal of Fertility.(N)
Behavioral and Neural Biology.(N)	International Journal of Theoretical Physics.(S)
Biotechnology Letters.(N)	Journal of British Nuclear Energy.(S)
British Journal of Plastic Surgery. (N)	Journal of Clinical Pharmacology.(N)
CALPHAD: Computer Coupling of Phase Diagrams and Thermo- chemistry.(S)	Journal of Occupational Medicine.(N)
CRC: Critical Reviews in Solid State Sciences.(S)	Journal of Pedodontics.(N)
Catalysis in Chemistry.(S)	Journal of Powder and Bulk Solids Technology.(S)
Cereal Chemistry.(N)	Medical Anthropology.(N)
Chemotherapy.(N)	Pathologie et Biologie.(N)
Coal Age.(S)	Physical Therapy.(N)
Computers and Digital Techniques.(S)	Progress in Semiconductors Science and Technology.(S)
Energie.(S)	Respiratory Care.(N)
	Ultramicroscopy.(S)

大阪大学所蔵逐次刊行物をCASSIに登録する

CASSI (Chemical Abstracts Service Source Index) は Chemical Abstracts Service が行なっている索引及び抄録の作成等、国際的な化学情報流通活動の一環として刊行されているもので、一次資料の書誌データとその所在情報が掲載されている。

CASSI は化学及び化学工業の分野だけでなく関連の物理学、生物科学など広く自然科学分野の逐次刊行物や Proceedings 等の Non-Serials を収録し、省略誌名、ISSN、使用言語、創刊年等の書誌変遷、出版社、発行回数、最近における Vol. と年の対照、二次資料データベースの対象誌となっているか等の情報を記載している。また、文献の所蔵館名と所蔵年も記載され、自然科学分野における国際的な Union List になっている。

CASSI Cumulative 1907-1974版には約35,000タイトルが収録され、所蔵が記載されている CASSI 協力館は28ヶ国、約400館にのぼっている。日本では国立国会図書館、科学技術情報センターが協力館になっている。大学図書館としても海外に一次資料の複写を依頼するだけでなく、学術情報の提供における国際協力的一端を荷う意味から、今回、CASSI 協力館として大阪大学が所蔵する自然科学分野の逐次刊行物 和文誌約900タイトル 欧文誌約4,600 タイトルをCASに報告した。今後、継続的に新規追加分を報告することになるが、大阪大学の所蔵は所蔵コードJOUとしてCASSIに収録されることになる。

教官著作寄贈図書

— 本 館 —

- 宮地 裕 (文・教授)
文論 宮地 裕著 新版
(明治書院 昭54)
- 覚道豊治 (法・教授)
榎原 猛 (教・教授)
憲法要説 覚道豊治、榎原 猛他著
(法律文化社 昭54)
- 浜口恵俊 (人・助教授)
日本人にとってキャリアとは— 人脈の
なかの履歴 — 浜口恵俊著
(日本経済新聞社 昭54)
- 大高順雄 (言・教授)
中世の大学 Jacques Vergier 著
大高順雄訳 (みすず書房 昭54)
- 松田福久 (溶研・教授)
溶接部破壊面のフラクトグラフ集 標準
破面編 松田福久、中川博二共編
(黒木出版社 昭54)
- 吹田分館 —
- 藤井克彦 (工・教授)
ミニコン・マイコン入門 藤井克彦、
桑原道義共編 (オーム社 昭54)
- 平木昭夫 (工・助教授)
岩見基弘 (工・講師)
基礎電子物性工学 (大学講義シリーズ)
川辺和夫、平木昭夫、岩見基弘共著
(コロナ社 昭54)
- 丸尾 大 (工・教授)
炎加工、熱切断 (溶接全書 10) 中西 実、
丸尾 大共著 (産報出版 昭54)
- 村田 暹 (工・教授)
三宅 裕 (工・助教授)
流体力学 (最新機械工学シリーズ 19)
村田 暹、三宅 裕共著 (森北出版 昭54)
- 西口公之 (工・教授)
溶接法の基礎 (溶接全書 2) 荒田吉明、
西口公之共著 (産報出版 昭54)
- 庄野利之 (工・教授)
クラウンエーテルとクリプタンドの化学
R. M. Izatt, J. J. Christensen 編
庄野利之他訳 (化学同人 昭54)
- 上田 篤 (工・教授)
くるまは弱者のもの— ツボグレルマの提唱
— (中公新書 556) 上田 篤著
(中央公論 昭54)
- タウンハウス 上田 篤著
(鹿島出版会 昭54)
- 裏 克己 (工・教授)
電子光学 (共立全書 228) 裏 克己著
(共立出版 昭54)
- 薬学部分館 —
- 池原森男 (薬・教授)
大塚栄子 (薬・助教授)
核酸有機化学 池原森男、上田 亨、
大塚栄子共著 (化学同人 昭54)

本館受入参考図書

(昭和54年11月～55年1月)

◇ 総 記 ◇

- Encyclopedia of library and informa-
tion science. Vol. 26. (Dekker)
書誌索引論考 天野敬太郎著
(日外アソシエーツ)
- 20世紀文献要覧大系 6 産業能率短期大
学図書館編 (日外アソシエーツ)
- 雑誌記事索引 人文・社会編 累積索引版
1955年—1964年 1政治・行政 2法律
3 経済 4産業 5社会 7教育・文化 8哲学
・宗教 9歴史・地理 10文学・語学 11芸
術・芸能・スポーツ
(日外アソシエーツ)
- 雑誌記事索引 人文・社会編 累積索引版

- 1965年—1969年 1政治・行政 2法律
3経済 4産業 5社会 6労働 7教育・文化
8哲学・宗教 9歴史・地理 10文学・語学
11芸術・芸能・スポーツ 12総合索引 著
者名編、件名編
(日外アソシエーツ)
日本書誌の書誌 総載編 天野敬太郎編
(巖南堂書店)
日本書籍総目録 1979(日本書籍出版協会)
Index translationum, 27(1974).
(UNESCO)
Guide to reference material. Vol.
2, Vol. 3. Ed by A. J. Walford.
3rd ed. (The Library Association)
British Library, General catalogue
of printed books; five year
supplement 1971-1975. Vol. 7-13
(British Museum Pub)
毎日ニュース 第7巻 (1979年版)
(毎日新聞社)
- ◇ 哲 学 ◇
Philosophie-geschichtliches Lexikon.
von Noack, L. (Friedrich Fromman)
哲学大辞書(覆刻) 第1~3冊 大日本百科辞
書編輯所編纂 (名著普及会)
仏具辞典 清水乞編 (東京堂出版)
- ◇ 歴 史 ◇
Dictionary of Chinese history. by
Dillon, M. (Frank Cass)
Harvard guide to American history.
Vol. 1-2. Rev. ed. Freidel, F. ed.
(Belknap Pr. of Harvard Univ Pr.)
人事興信録 第30版 (人事興信所)
日本地誌 第19巻 九州地方総論・
福岡県 (二宮書店)
角川日本地名大辞典 25. 滋賀県、
32. 島根県 (角川書店)
- ◇ 社会科学 ◇
A bibliography of foreign and com-
parative law by Charles Szladits.
(Oceana Pub.)
- 仏和法律辞書 柳川勝二著(判例タイムズ社)
公文録目録 第2 自辛未至明治6年
(国立公文書館)
Rechtswörterbuch, Hrsg. von Carl
Creifelds 5. Aufl. (Beck'sche)
明治職官沿革表 内閣記録局編 (原書房)
Jowitt's dictionary of English law.
Vol. 1-2 2d ed. by John Burke.
(Maxwell)
法人税法令集 昭和53年度版
(税務経理協会)
最新法人税通達集 松橋行雄、渡辺淑夫共
編 (税務研究会出版局)
所得税法令集 昭和53年度版 税務経理協
会編 (税務経理協会)
地方税法規集 昭和53年6月1日現在
(中央経済社)
相続税法令通達集 昭和53年度版
(税務経理協会)
International encyclopedia of
statistics. Vol. 1-2. ed. by W. H.
Kruskal. (Free Pr.)
- ◇ 自然科学 ◇
科学基礎論文獻目録 科学基礎論学会編
(南窓社)
マグローヒル科学技術用語大辞典
(日刊工業新聞社)
Who's who in science in Europe.
Vol. 1-4. (Francis Hodgson)
化学・薬学・生物医学の文献調査法
笹本光雄著 (地人書館)
世界 人工衛星写真集 (朝倉書店)
漢方医語辞典 西山英雄編著 (創元社)
食品成分表 香川綾編
(女子栄養大学出版部)
日常食品、栄養価早見表 庄古光治著
(医歯薬出版)
市販食品成分表 会社別・製品別
(女子栄養大学出版部)
- ◇ 工学・技術 ◇
特定化学物質等 障害予防規則 実務便覧

労働省安全衛生部編 (労働法令実務センター)	綴字逆順排列語構成による大言海分類語彙 風間力三編 (富山房)
宇宙通信必携 昭和53年版 郵政省電波監 理局編 (大蔵省印刷局)	An Indonesian-English dictionary. 2d ed. by J. M. Echols. (Cornell Univ. Pr.)
図解古銃事典 増補 所 荘吉著 (雄山閣出版)	川崎 寅雄著 最新日ア辞典 (アラブ言語文化研究会)
◇ 語 学 ◇	

図 書 館 職 員 研 修 会

第1回は54年9月29日、13時30分より本館視聴覚室で教養部布目潮風教授の「中国方志叢書」について講演が行われた。

このなかで、「中国方志叢書」の性格が日本の郷土史誌や史蹟名勝天然記念物案内などに当たること、その利用方法などについて解説が行われ、併せて東洋史学界の動向、最近教授が旅行された楊州周辺の現況についてスライドをまじえて興味深い説明があった。

第2回は54年10月17日、基礎工学部 木澤誠教授の「科学技術情報の流通技術基準」について講演が行われた。

情報の時代といわれる昨今、おびただしい情報量を整理する技術が要請される。講演は科学技術情報流通技術基準検討委員会のメンバーである木澤教授から「書誌的情報の記述に関する基準案」他の資料をもとに、身近な例を引いて略記法などの興味あふれる説明が行われ、図書館業務に直接関係ある事例を学んだ。

第3回は、55年1月26日、医学部 中川米造助教授の「身体の文化史」について講演が行われた。

この講演では、日常われわれが体験する「笑う」「泣く」「触れる」などの感覚を生理学的に考察するとどうなるのか、また哲学界、心理学界の定説はどうなっているかなど職員だれもが分かるようにやさしく解説された。「医学概論」を担当される先生が、まだ未開拓の分野、仮説に止っている事象など人文科学の分野からのアプローチも含めて次々と説明され、時間のたつのも忘れるほどであった。

大阪大学図書館業務機械化検討委員会

第1回 委員会議事要録

委員会発足の主旨

本学図書館に電算機が導入されすでに8年を経過している、その間業務量は年々増加の一途にある。また他大学の機械化を眺めても電算機の性能の向上とあいまって処理業務の内容も一段と進んでいる。本学の場合、電算処理は不可欠なものであり、処理業務の拡張も考えなければならない、そのような観点から本学の図書館業務の研究、検討を行う。

- 1) 本学における機械化の再検討
- 2) 全学的な機械化及び電算室のあり方
- 3) 地域における機械化

委員の構成

本学図書館職員の中より委嘱する。本館 各掛1名、分館 2~3名、図書分室より1名

委員

(本館)

- 井上明大(閲覧課長) 砂本 真(整理課長) 松浦 正(整理課長補佐) 故選義浩(受入掛) 津田恭司(和漢書目録掛長) 伊藤 彰(洋書目録掛) 宮内 修(参考掛) 石井道悦(閲覧第一掛) 岩淵恭幸(閲覧第一掛:理学部図書分室) 諏訪敏幸(参考掛) ○印委員長(中之島分館)

茂幾周治(目録掛長) 尾崎一雄(運用掛長)

(吹田分館)

門田泰典(運用掛長:事務主任) 藤川俊三(受入掛長)

開催頻度及び期間

毎月1回 各月の第2金曜日 13:00~17:00 但し検討の進捗状況によって開催頻度を変更する。

期 間 昭和54年12月~56年3月

次回委員会

本学図書館業務の機械化について各委員の持っているビジョンの発表を行う。

第2回 委員会議事要録

各委員より次の業務内容にそって本館、分館それぞれより報告があった。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1) 雑誌管理業務 | 山下、茂幾 | 4) 閲覧業務 | 石井、尾崎 |
| 2) 受入業務 | 故選、藤川 | 5) 電算室の現状 | 宮内 |
| 3) 目録業務 | 伊藤 | 6) 機械化全般 | 門田 |

今後の機械化は全学的なネットワークが必要である。また現行システムで将来につながる業務は改善することも併せて検討する。

■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

——分館長会議——

55・1・18・(金) 16:00~17:30 (中之島分館会議室)

1. 昭和54年度外国雑誌購入費及び外国図書(大型コレクション)購入費について報告があった他、最近寄託された北山文庫叢書448冊及び、寄贈された中国刊行図書310冊ドイツ文化センターの図書367冊について説明があった。
2. 昭和54年度学生用図書購入費の追加配分について、当初予算配分と同じ方法でこれを配分する原案が説明され、種々協議の後、原案通り承認された。

■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- | | | |
|----------------|---|----------|
| 54. 11. 8. | 国公立大学図書館協力委員会 | (中之島分館) |
| 54. 11. 13~16. | 大学図書館中堅職員研修会(文部省主催) | (吹田分館) |
| 54. 11. 14~15. | 昭和54年度国立大学附属図書館事務部長会議 | (東京工業大学) |
| 54. 11. 30. | 国立大学図書館協議会学術情報システムについての懇談会 | (東京大学) |
| 54. 12. 11. | 京都大学附属図書館80周年記念式典 | (京都大学) |
| 55. 1. 18. | 分館長会議 | (館長室) |
| 55. 1. 28. | 昭和54年度第2回近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会 | (神戸大学) |
| 55. 1. 29. | 第1回国公立大学図書館協力委員会 文献複写委員会 | (関西大学) |


 人 事
 

来訪者

54. 11. 13.	竹田 弘	文部省学術国際局情報図書館課課長補佐
54. 11. 16.	遠山敦子	文部省学術国際局情報図書館課課長
54. 11. 21.	木本明男	東北大学附属図書館医学部分館事務長
54. 12. 8.	森六一郎	国立国会図書館収集整理部収集課主査
54. 12. 10.	岸本年之	名古屋大学附属図書館整理課課長

職員の異動

54. 11. 1.	転任	故選 義浩	整理課 掛 (金沢大学附属図書館医学部分館図書係)
54. 11. 1.	採用	竹内多美子	整理課和漢書目録掛事務補佐員
54. 11. 1.	採用	甘利 美穂	整理課受入掛事務補佐員
54. 11. 11.	辞職	小林みち子	中之島分館運用掛事務見習
54. 11. 19.	採用	加藤多恵子	中之島分館運用掛事務補佐員
54. 11. 26.	採用	市塚美和子	中之島分館運用掛事務補佐員
54. 12. 1.	配置換	篠田 和美	歯学部附属病院庶務掛事務補佐員 (吹田分館受入掛事務補佐員)
54. 12. 1.	採用	平井多美子	吹田分館目録掛事務補佐員
54. 12. 9.	辞職	鈴木 和子	吹田分館運用掛事務補佐員
54. 12. 10.	採用	山崎 堅司	中之島分館運用掛事務見習
55. 1. 16.	採用	中原ユリ子	吹田分館目録掛事務補佐員